

埼玉県立小川げんきプラザ指定管理者候補者の選定結果について

埼玉県教育局教育総務部生涯学習推進課

令和7年7月3日から募集を開始した埼玉県立小川げんきプラザの指定管理者については、埼玉県議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

1 小川げんきプラザ指定管理者について

指定管理者：オーエンス・アイルグループ

代表者：株式会社オーエンス

東京都中央区銀座4丁目12番15号

代表取締役 大木 一雄

構成員：アイル・コーポレーション株式会社（さいたま市）

2 指定の期間について

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

3 応募の状況について

（1）現地説明会への参加団体数

令和7年7月29日実施説明会 6団体

（2）応募申請団体数

・令和7年9月8日締め切り 1団体

・申請団体の内訳

グループ申請 1団体（ビルメンテナンス会社2社）

4 指定管理者候補者の選定について

（1）選定基準

1 審査基準

- ① 県民の平等な利用を確保することができる。
- ② 関係法令を遵守し、適正な運営ができる。
- ③ 設置目的を効果的に達成し、効率的な運営ができる。
- ④ 指定管理業務を安定して行う経営基盤を有している。
- ⑤ 個人情報の適正な取扱いが確保できる。

2 審査項目

- ① 県が設置する公の施設としての役割を適切に担うことができるか。
- ② 本店又は主たる事務所の所在地が県内であることに対する加点。

- ③ 利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか。
- ④ 県民の平等利用確保への配慮がされているか。
- ⑤ 効果的かつ効率的な管理を実施できるか。
- ⑥ 法人等の経営基盤が安定しているか。
- ⑦ 効果的な自主事業を実施できるか。
- ⑧ 指定管理業務に係る県の委託料（算出した額）は適切な額か。
- ⑨ その他、特筆すべき優れた提案に対する加点。

（２）選定委員会の委員

氏名	職業等
山本 照恵	ボーイスカウト埼玉県連盟副理事長
松村 純子	亜細亜大学特任教授
山本 和人	東京家政大学名誉教授
井深 道子	長瀬町教育委員会教育長
和田 正夫	公認会計士
塩崎 豊	埼玉県教育局教育総務部副部長

（３）第１次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

○ 審査結果

応募１団体中、１団体を第２次審査対象団体としました。

（４）第２次審査について

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリング等による審査を実施しました。

○ 審査結果

審査項目（配点）		オーエンス・ アイルグループ
県が設置する公の施設としての役割を適切に担うことができるか	150 点	108 点
本店又は主たる事務所の所在地が県内であることに対する加点	30 点	30 点
利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか	150 点	109 点
県民の平等利用確保への配慮がされているか	60 点	41 点
効果的かつ効率的な管理を実施できるか	150 点	96 点
法人等の経営基盤が安定しているか	90 点	61 点
効果的な自主事業を実施できるか	240 点	167 点
指定管理業務に係る県の委託料（算出した額）は適切な額か	180 点	108 点
その他、特筆すべき優れた提案に対する加点	30 点	23 点
合計点	1, 080 点	743 点

○ オーエンス・アイルグループの選定理由

ア げんきプラザの設置目的や県の施策を十分に理解しており、社会教育施設をはじめとした指定管理業務の実績が豊富であることに加え、利用者ニーズの把握やその対応方針など、利用者本位の柔軟なサービスの提供が期待できる。

イ 施設の特徴であるプラネタリウムや大型の天体望遠鏡を活用した「天文」に関する事業の他、伝統工芸や周辺施設を生かした多彩な事業が提案されている。

ウ 本館施設はもとより、金勝山をはじめとした広大な敷地の維持管理計画や職員に対する計画的な危機管理研修などが提案されており、指定管理者として安心・安全な施設運営が期待できる。

エ 代表法人、構成法人ともに安定した経営基盤を有している。

○ （参考）選定委員の主な意見

団体名	意 見
オーエンス・アイルグループに対する主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムに関する提案が魅力的であったため、さらなるアピールに期待したい。 ・プラネタリウムの字幕対応など障害のある方へも配慮している点が見られた。 ・キャッシュレス対応など利用者の利便性向上に関する取り組みが見られた。

5 オーエンス・アイルグループの提案の概要

① 基本方針

- ・県の社会教育施設としての役割を発展
- ・3期14年間の実績を生かした信頼と絆づくり
- ・現代的課題・地域課題への取組強化で生涯学習機会を拡充
- ・県・利用者・地域との連携によるまちづくり
- ・安全・安心・快適な施設づくり

② 自主事業計画

- ・自主事業を通じて目指す目標について、「第4期埼玉県教育振興基本計画」の10の目標の中から設定し、38種類の事業を提案

例 施設の特徴を活かした自主事業の提案

星空キャンプ

小川町まんきつプラン〜和紙うどんづくり〜 など

例 県の施策を踏まえた自主事業の提案

わくわくアクティブクラブ（バリアフリー交流体験） など

③ 利用者ニーズの把握及び実現策、接遇向上策

- ・ 利用者とのコミュニケーションやアンケートを活用した利用者ニーズの把握
- ・ ネットワーク協議会など、各種会議体を通じた様々な意見の収集
- ・ 第三者機関による利用者満足度調査の実施
- ・ 全職員に対して顧客満足度（C S）向上研修を実施

④ 施設設備の維持管理

- ・ 施設の長寿命化を図るため、予防保全を基本とした維持管理の実施
- ・ 不具合箇所への速やかな対応による安心・安全な利用環境の維持
- ・ 適切な保安林の管理と安全な遊歩道及び登山道の環境整備の実施

⑤ 管理執行体制

- ・ 現行の管理執行体制を継続し、安定的な体制の構築
- ・ 配置職員数：常勤職員 9 名、非常勤職員 11 名
- ・ 専門職員配置：社会教育士、社会教育主事、自然体験活動指導者等有資格者の配置
- ・ 研修計画：「指定管理者講習」、「人権啓発研修」、「防犯・防災・緊急時対応」をはじめとした各種研修計画の策定

⑥ 収支予算案

- ・ 令和 8 年度指定管理委託料は、令和 7 年度当初予算と比較して約 49 % 増

⑦ 利用料金に関する考え方

- ・ 食事代、シーツ代等は市場動向を踏まえ、県と協議のうえ、適切に設定

⑧ 個人情報の取扱い

- ・ 法令を遵守した管理体制の構築と継続
- ・ 全職員に対する個人情報保護及び業務情報保護研修の実施

⑨ 危機管理体制

- ・ 業務遂行上のリスク分析を実施し、事前防止策や事後対応策を講じる
- ・ 緊急対応策に基づく適切な一次対応を実施することで二次被害の発生を阻止
- ・ 危機管理マニュアルの策定と日常的な研修の実施